

NEWS LETTER

Ver. 2012. 06



TRAM SYSTEM



今月のコンテンツ



◎ 2012年 6月6日 【IPv6 本格始動】

- ・IPv6 始動の背景
- ・「World IPv6 Launch」まずは上々の滑り出し？

◎ KDDI、SoftBank が NTT のひかり電話独占に待った！

- ・ひかり電話市場に KDDI に続き SoftBank も名乗りを挙げる。

◎ 注目される携帯電話の通話録音

- ・企業の生命線とも成り得る 通話録音装置。
- ・通話録音装置 導入事例



全社員 全ての通話記録を
会社のサーバーへ保存



2012年もはや6月となり、季節の変わり目である梅雨入りとなりましたね。

インターネットの世界でも 変革の季節に入りました。

IPv4 ⇒ IPv6 への移行、「World IPv6 Launch」です。

これは世界規模での変革期で、IPv6 にかける期待は非常に大きいものと言えます。しかしインターネットの遅延やセキュリティの面でまだまだ解決していかなければならない問題も多く、ユーザーサイドの対応や意識によっては 企業にとって大きなダメージを被る可能性を含んでいます。

最新の予備知識と対応策をご紹介していきますので、蒸し暑い混乱期を共に切り抜けましょう。

◎ KDDI・SoftBank がNTT のひかり電話 独占にまつた！

・ひかり電話市場に KDDI に続き SoftBank も名乗りを挙げる

2011年12月現在でNTTのひかり電話加入数は1347万件と、NTTの独壇場となっていました。

しかし今年の4月よりKDDIもひかり電話サービスを開始。モバイル端末とのセットプラン等でコストダウンを図り、顧客の囲い込みにかかります。

KDDIに続きひかり電話参入が確定しているのがSoftBankです。早ければ年内にもサービスが開始される予定です。

2012年4月1日 サービス開始



NTTの牙城を崩しにかかる



2012年度内 サービス開始予定



NTT 独壇場

ひかり電話網

両社とも、ADSLでの問題点だった「03」などで始まる番号帯を使えなかった点。「110」など緊急通報が出来なかった点を、ひかり電話サービスで改善しており、通話品質も独自の仕組みを用いてクリア出来る見込みが立っているようです。

KDDI・SoftBank 共に、NTT のサービス価格帯より安く設定しており、牛丼業界のように価格競争が始まればユーザーとしては嬉しい限りですね。

◎ 2012年 6月6日 【 IPv6 本格始動 】

IPアドレス

・IPv6 始動の背景

IPv6が誕生した背景には、IPアドレス枯渇問題があります。
1990年代から急速なインターネットの普及により、IPアドレスが不足する
恐れがでてきていました。

その解決策として検討・研究された最終成果がIPv6 というわけです。

IPv4 のそれまで約42億個であったIPアドレスを、約340澗(カン)個まで
使えるようにしたのが大きな特徴の1つです。

340澗個のアドレスとは、**340兆の1兆倍の1兆倍**のアドレス空間がある
ということです。

1個のアドレスを1mmの砂粒に例えると。
砂粒を1列に隙間なく真っ直ぐ並べると地球を
3400垓周することに…。(垓=1兆の1億倍)
立てに真っ直ぐ積んでいくと3400兆光年の長さに…。

(1光年 = 光の速度で1年移動して届く距離 = 約10兆km)

余計に解りにくくなった気がしますがとにかく！人類にとって
ほぼ無限とも言えるほどのアドレス空間を保有しているのが
IPv6 なのです!!

(IPv4の表記例) 192.0.2.0

(IPv6の表記例) 2001:0db8:1234:5678:90ab:cdef:0000:0000



「ちなみに」

地球 ⇒ 太陽 1.5億km

太陽系の直径 145億km

地球 ⇒ 北極星 400光年

銀河系の直径 2.7万光年

地球 ⇒ アンドロメダ星雲 254万光年

(銀河O道999の最初の目的地ですね。)

現代科学で知覚出来る 宇宙の端

スローン・グレートウォールまでの距離 10億光年

ビッグバン ⇒ 130億年前

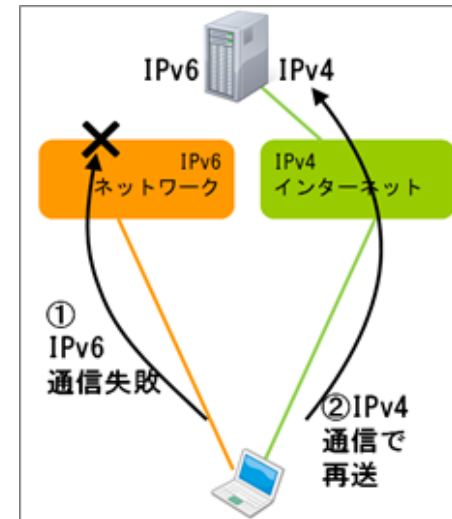
IPv6 ⇒ 3400兆光年

比べるものがどうしても地球を飛び出してしまう数字です…。

◎ 「World IPv6 Launch」まずは上々の滑り出し？

・IPv6 普及のため、世界規模でイベントを開始

6/6 の開始から数日、大きなトラブルは発生していないようです。当初、IPv4/IPv6両対応のWebサイトに接続する際に「一部のユーザーに接続の遅延、失敗などの不具合が生じる可能性がある」と言われていました。こうした問題は「フォールバック問題」と呼ばれ、日本では特に NTTの「フレッツ 光ネクスト」や「Bフレッツ」を利用し、かつIPv6インターネット接続契約をしていない一部ユーザーに、起こりやすくなると指摘されていました。しかし、一部 ISP やコンテンツ事業者などが問題軽減対策を講じたこともあり、今のところ目立った混乱は起きていません。



しかし、World IPv6 Launch は期間限定のイベントではなく、IPv4との併用を経て、IPv6への完全移行を目指す試みです。そのため、現時点で大きな問題は起きてないとしても、今後フォールバック問題などで接続不良に見舞われるユーザーが出てこないとも限りません。事前に自社で使っている ISP や通信事業者のWebサイトで紹介されている回避策に目を通されておくと良いでしょう。既にマイクロソフト社ではIPv6関連情報サイトとして、情報提供を行っています。



◎ 注目される携帯電話の通話録音

・企業の生命線ともなり得る 通話録音装置

通話録音装置は、コールセンター・金融系を中心に普及し、一般オフィスでも導入が進んでいます。

通話録音で以前から問題となっていたのが、携帯電話を通じた通話録音は携帯電話の機能でしか録音出来ない為に、一元管理が出来ないことでした。

携帯電話の通話録音にいち早く取り組んだのが、録音装置大手のネイクス社で、ビジネスホン・携帯電話の連動型装置の販売を始めました。

これにより、**全社員の全ての通話記録を会社のサーバーへ保存し、一元管理を容易にしました。**

通話を録音し、録音内容を確認するという行為は、電話対応のサービス向上はもとより、重大な依頼内容の確認など 業種によっては生命線にもなり得ることで、一度「録音」について、考えてみる価値はあると思います。



『今までの録音装置(固定電話用)』

パット型



- ・メディア内蔵型
本体メディアチップに保存
- ・LAN対応型
PCIに保存

サーバー型



- ・回線収容型
- ・電話端末型
- ・ビジネスホン
交換機連動型

『次世代 サーバー型 通話録音装置』

サーバー型



- ・SIP 対応型
- ・IP PBX連動型
- ・CTI 連動型
- ※ 携帯対応

◎ 録音装置 導入事例

～ 株式会社 T 様 ～

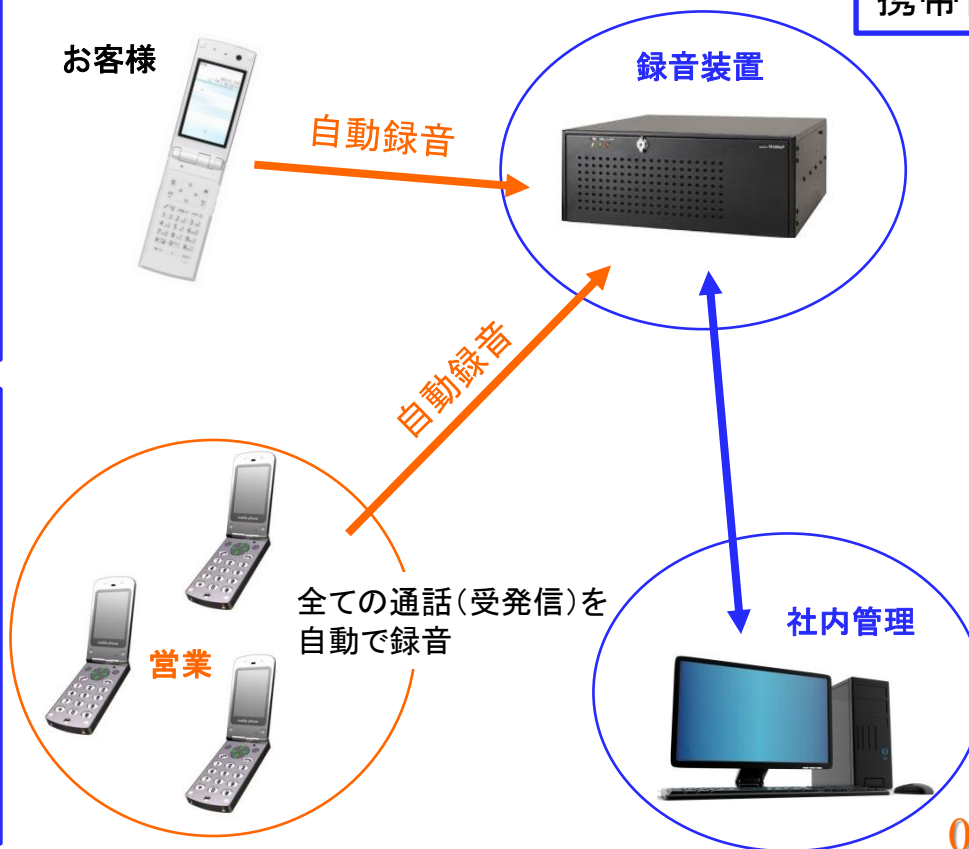
ご要望

営業がお客様と携帯で何かと打ち合わせしており、重要な依頼も携帯で受けることが多い。
何か問題が起こった時の為にも録音しておきたいが、携帯に付いてる録音機能ではうまく録音できない。

ご提案

営業などお客様と携帯で主に連絡取られる方が多いので、ビジネスホンと携帯電話を連動させ、サーバーに通話を録音し、社内PCから管理出来るものをご提案。
スマートフォンの導入も視野に機器を選定。

携帯電話 録音装置 運用イメージ



業種	システム開発業
従業員数	50人以上
エリア	愛知県
携帯台数	20台

お客様の声

実は以前ウチの営業とお客様とで、依頼内容が違うというので少し問題になったことがあったんですよ。

普段は書面やメールでやり取りしてるけど、その時は携帯で依頼を受けちゃったから、実際どうなのかわからなくてね。それはなんとか事なきを得たけど、管理するものとしては録音取っておいた方が安心できると思ってね。

ご興味のある方は
お気軽にご相談下さい。

0120-266-642



トラムシステム株式会社

〒465-0063

愛知県名古屋市名東区新宿2丁目55番地

TEL:052-701-2634

FAX:052-701-2637

Mail : info@tramsystem.jp